

- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷲沢幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)セラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピトーブ」/長野市をピトーブネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士协会会长
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野バルセイローー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしよ/代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぽ〜 平成22年5月25日
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役

- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J〜Jを長野にーいよいよ地域決勝大会1〜 平成22年10月25日
講師/鈴木政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶 平成23年8月30日
講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者

- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役

- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭

- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

- 第36回 すべてが一丸となって「ながのの宝もの。」をJへ 平成24年4月24日
講師/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ監督

- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山義光さん 日本野鳥の会長野支部会員

- 号外 門前まち花遊歩ー牛に引かれて善光寺参りー 平成24年9月1日

- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/俣田達男さん NTT東日本 長野支店長

- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

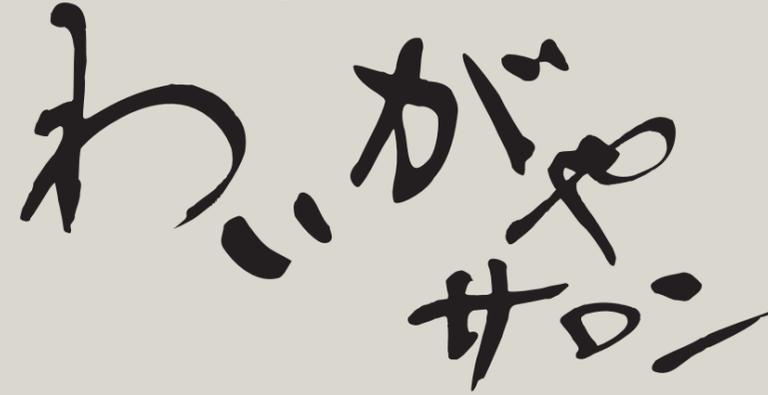
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡牧夫さん イラストレーター・絵本作家



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol.42
2013.4



篠ノ井中央(緑育)公園

第42回

花は人を育てる

平成25年4月9日(火) 18:00~20:00

講師／矢澤秀成さん

園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

■座長 岩野 彰

場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911



やざわ ひでなる 1967年、茨城県生まれ、東京深川育ち。園芸研究家・ブリーダー。幼少時、育種に目覚めて以来、一貫して植物に関わり続ける。『趣味の園芸』(NHK出版)等、連載著作・メディア出演多。『ほそめブログ』にて長野市での活動や花風景ほかをほぼ毎日発信

夫次第で立て直せるのではないかと思いました。

準備期間を経て2011年5月、「ながの緑育協会」「ながの花と緑そして人を育てる学校」設立、茶臼山自然植物園・篠ノ井中央(緑育)公園の総合プロデューサーとして始動。植物園の矩(のり)面等を覆っていたクズを抜きとり開墾して、篠ノ井中央公園に生えていたコスモス5株から採種した種(2万粒)を蒔きました。茶臼山自然植物園の頂上付近にある家族広場には原種クロッカス、その間に原種チューリップの球根を各々数万植栽。放ったらかしになっていたオオデマリやヤマフジの花のトンネルを整備。時期をずらして何十万もの原種チューリップ等が咲き続ける壮観は日本一(否世界一かも)、花のトンネルも見事……そうしたことを自分のブログでPRしたり、JRや近畿日本ツーリストに働きかけ、ツアー企画が実現。全国から花好きが来始めています。

これだけのこと、1円もかかっていません。宿根草類は園芸仲間たちから贈られたものが多く、また作業はすべてボランティアの皆さんと汗を流しています。私がめざすのは「市民による市民のための植物園」——行政が箱(きっかけと予算)をくれ、市民が中身を入れる。市民主導ならば、長野の風土に合った長野ならではの花々が咲き続けるならば、魅力が持続する植物園になると思います。

驚いたことにボランティアして下さる方の8割が長野市民なんです。こんなに自然に囲まれた長野です。茶臼山の植物園は市民の皆さんが「自分たちでつくっている」という「思い、がこもった園になろうとしています。

信州では梅、桃、桜が一気にほころび始める4月初旬、宵のサロンにお招きした講師はNHKTV「あさイチ」等でおなじみの園芸研究家・矢澤秀成さん。全国を飛び回って活躍されていますが、実は2011年より長野市を活動拠点にしています。

市民による 市民のための植物園

まず、お聞きします。茶臼山自然植物園に行ったことがある方?えっ1人?確かに、私がまだこちらに来る予定のない頃に訪ねた植物園は倒木が朽ちたまま、草花はひどい状態で自然のままに近い植物園でした。長野は東京から新幹線で1時間半~2時間という好アクセスと素晴らしい自然風景という恵まれた条件なので、人をよべないわけがない。お金はなくても工



茶臼山自然植物園にボランティアが植栽した原種チューリップの色とりどり。ぜひ5/12「茶臼山フラワウォーク」(篠ノ井駅~植物園)、5/18・19「長野市緑花まつり」(南長野運動公園)へお出かけください

花や木に「思い」を託す。

篠ノ井緑育公園は全国初の「リサイクルガーデン」という考え方で造園を進めています。工事等で伐られる運命になった木々、例えば長野駅善光寺口にあったモミジ……木陰で休んだり待ち合わせの場所だったことでしょうか。例えば、市民会館のイチヨウ……木の下で初めて出会った2人が結婚し、生まれた子どもと毎秋銀杏拾いをしてきたかもしれません。そうした木々の終(つい)の住処(すみか)が緑育公園。行って思い出の木に再会してください。

公園真正面が篠ノ井総合病院になります。窓からの眺めで気持ちを癒していただくだけでなく、車椅子でも触れるベジタブルガーデンもあります。「信州といえば蕎麦」、けれども全国から学校に来る人も地元の人もソバがどんな花が咲くのか、どんな実が付くのか案外知りません。それでソバを蒔き、花や実を見てもらいました。長野市のいいところを花や緑が伝えてくれる公園になるはずですよ。

南長野運動公園に至る道筋ですので道路花壇にAC長野パルセイロのチームカラーであるオレンジ色ベースのチューリップ球根を選手たちと市民で植えてもらうことなどもしています。オレンジの花が選手やサポーターの意気を上げ、道行く人・車のパルセイロ応援機運を盛り上げてくれることでしょうか。

種から育てる。

「ながの花と緑そして人を育てる学校」(篠ノ井緑育公園内)は長い名前ですが、私の願いがこもる学校、育種寺子屋の大人版ともいえるものです。

そもそも、私の専門は「育種」でして、野菜や花の新種品種を世に出し続けてきました。おそらく皆さんのお腹の中に私が開発した野菜や果物が入っていると思います。特に花については、爪よりも小さい薔薇咲きペチュニアなど何でも小さくしてしまうクセのあるブリーダーです。

ガーデニング趣味の方は苗を買って楽しめますけれども、花は種から育てた花に、もっといえば、育てる過程に本当の面白さが隠れています。

種から育てる面白さ=ドキドキ、ワクワク感を味わってもらいたくて、これまで14年間、全国の小学校で、長野市では後町小学校で「育種寺子屋」を開いてきました。寺子屋を立ち上げる原点は15年前の横浜。子どもたちに土に触ってほしいと寄せ植えを教えました。が、花が咲いておしまいでは子どもたちの心に何も残らないのではないかと、どうしたら花を育てる楽しさを知ってもらえるか、と自分を振り返って始めたのが育種寺子屋。最初はなかなか授業をしてくれる小学校がなく、それでも諦めずに諸学校へ直談判して、一年目は1校、二年目は3校、三年目は8校……と全国へ広がっていきました。

子ども自身で花の受粉をし、掛け合わせる。種とりをする。出来た種からどんな色・形の花が咲くか、考えさせる。蒔いて育てる。実際に咲いた花は!! 同じ種でも交配した花のどちらとも似つかない花が咲くこともある驚き、隔世遺伝ということも知ります。種まき、水やり、植え替えなどの栽培管理をしっかり行って初めて咲く「世界に一つだけの花」を目の当たりにした子どもたちは目を輝かせます。

「ながの花と緑そして人を育てる学校」の緑育マイスター制度(2年制)の第1期生のうちほぼ全員が2回生として継続、今年度も応募を上回る申し込みがありました。植物園のボランティアにしる、緑育マイスターにしる、長野って凄いいところだな、緑に対する思いが大きいところだなあと感じます。

花と緑が私に教えてくれたこと

たった1粒でも、種を蒔き育てる苦勞を味わい、可能性をもってワクワクドキドキする気持ち、そして達成感、あるいは挫折感……これらは花を育てることに限りません。教育の世界では子どものことと同じではないでしょうか。——人は花を育てる。花は人を育てます。

講師の語り口、育種寺子屋の子どもたちの一生懸命な表情の写真が参加者の心を動かしました。ボランティアの皆さんだけでなく、長野市が心かよう美しいみどりのまちとなるよう、まずは茶臼山自然植物園にGO!



各地で開いている「育種寺子屋」(下)と、子どもが育種して咲いた「世界に一つだけの花」

